

「茨城県観光振興基本計画」に係る施策の実施状況等について

1 計画の趣旨及び進捗状況

- 「茨城県観光振興基本計画」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済情勢や旅行者の嗜好、行動が大きく変化するなか、2023年に「デスティネーションキャンペーン」の開催を控え、多様化する観光客のニーズに的確に対応し、観光の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、2022年3月に新たな計画を策定。
- 計画期間は、2022年度から2025年度までの4年間（茨城県総合計画と同じ期間）。
- 2023年の観光消費額は、3,576億円と、前年（2,958億円）から618億円増加した。茨城デスティネーションキャンペーン（10月～12月）による観光需要の増加、いば旅あんしん割等による宿泊需要の高まりや消費単価の増加により、過去最高値となった。
- 2024年の本県の外国人延べ宿泊者数は、速報値で260,830人泊となり、コロナ禍前の2019年（217千人泊）比で20%増と、急速に回復が進んでいる。

◆「茨城県観光振興基本計画」指標

指標	2022年（R4） 実績値	2023年（R5） 実績値	2024年（R6） 速報値	2025（R7） 目標値
観光消費額	2,958億円	3,576億円	—	4,000億円
外国人延べ宿泊者数	55,400人泊	237,960人泊	260,830人泊	260,000人泊

※1 観光消費額：本県を訪れた観光入込客の消費の総額（暦年）。

※2 外国人延べ宿泊者数：県内宿泊施設に宿泊した外国人の延べ宿泊者数（暦年）。

2 基本方針別の主な施策の実施状況

【基本方針1：安全・安心な観光地の形成】

【基本方針2：おもてなし日本一に向けた基盤づくり】

○ いばらきおもてなしレベルアップ事業

本県観光に関する知識と接遇スキルを持つ「いばらき観光マイスター」の認定

○ いばらきっ子郷土検定の実施

中学2年生を対象とした茨城県独自の郷土検定の実施（市町村大会・県大会）

【基本方針3：国内外への情報発信の強化】

○ パブリシティ活動強化事業

首都圏を中心としたテレビ・ラジオ等のメディアを活用したPR

- いばらきインターネットテレビ事業
魅力発信動画やVTuber 茨ひよりを活用した動画等の制作・配信
- いばらきアンテナショップ運営事業
首都圏におけるPR拠点である「IBARAKI sense（イバラキセンス）」の運営
- いばらき・とちぎ魅力発信事業
旅行商品造成への支援 等
- 観光キャンペーン事業
観光パンフレットやポスターの作成、HPやSNS、観光キャンペーン等での情報発信 等
- 茨城インバウンド推進体制整備事業
デジタルマーケティングの実施、HPやSNS等での情報発信 等

【基本方針４：稼げる観光産業の振興と観光消費額の向上】

- 宿泊施設等立地促進事業
本県のフラッグシップとなるホテル、常設型観光施設の誘致
- 稼げる地域観光支援事業
各市町村観光協会や観光事業者等が取り組む、本県のフラッグシップとなり得るコンテンツの開発・高付加価値化等に対する支援
- 新観光コンテンツ造成事業
民間事業者や市町村観光協会では取り組みにくい、付加価値の高い観光コンテンツ（ツアー）の造成
- 食をテーマとした観光振興
ガストロノミーツーリズムコンテンツ造成に向けた県内トップシェフによる令和版「食菜録」メニューの開発
- 茨城の名物料理・土産品のPR
茨城の名物料理・土産品のPR
- 伝統工芸士の認定等
茨城県伝統工芸品の指定、茨城県伝統工芸士の認定及び伝統工芸品展の開催
- 稼げるアウトドアの推進
本県ならではのアウトドアを推進するための、民間発想による柔軟な取組の支援
- 新たな旅のスタイルの創出事業
本県ならではのワーケーションのモニターツアー等の実施
- いばらきキャンプ関連事業
キャンプ場ポータルサイトの運営管理、民間連携事業の実施

【基本方針５：魅力ある観光地域づくり】

○ 都市農村交流推進事業

農村地域活性化人材育成講座・農泊推進モデル事業等の実施

○ つくばサイエンスツアー推進事業

研究機関等の見学コースの企画・調整及び見学受入調整等の実施

○ 県北ニューツーリズム推進事業

常陸国ロングトレイルのコースの整備や活用等を進めていくことで、新しい滞在・体験型のツーリズムを推進

○ 偕楽園・歴史館エリアの観光魅力向上

民間事業者のアイデアを参考に、偕楽園を中心とした観光魅力向上方策の検討

○ いばらきフラワーパークを活用した観光振興

フラワーパークへの誘客とフラワーパークを核とした周遊観光の促進

○ ひたちなか大洗リゾート構想推進事業

カジキ釣り国際大会を中心とする総合イベントの開催、茨城アフターデスティネーションキャンペーン期間に合わせた周遊バスの運行や渋滞対策 等

○ 日立市かみね動物園へのパンダ誘致

いばらきパンダ誘致推進協議会を母体とした誘致活動の推進

○ 植物園等魅力向上対策事業

県植物園等について県内外の多くの利用者に訪れていただけるよう、付加価値を高め、ポテンシャルを最大限に活かした魅力あふれる施設へのリニューアルを実施

【基本方針６：ポストコロナのインバウンド戦略】

○ 花絶景観光支援事業 【新規】

花絶景コンテンツの造成支援事業

インバウンド受入環境整備の実施

○ ビジット茨城ネクスト誘客促進事業

ポストコロナにおける国・地域別誘客プロモーションの実施

○ 重点市場インバウンド誘客促進事業

ゴルフ人気が高い韓国をはじめとする重点市場において、旅行支援やプロモーションを実施

○ 近県等との連携強化による広域観光の推進

北関東三県、一都十県等、広域連携による観光PRの実施

○ 空港就航対策利用促進費

新たな定期便・チャーター便の誘致及び既存路線の維持・拡充、茨城空港のPRや二次交通の充実などによる利用の促進

○ 外国クルーズ船の誘致

外国クルーズ船の運航会社、船舶代理店等へのポートセールスの実施 等

【基本方針 7：地域の特性や全国的なイベントを活かした国内誘客促進】

○ フィルムコミッション推進事業

ロケの誘致・支援、支援作品を活用した情報発信、ロケ地ツアーの造成促進 等

○ サイクルツーリズム推進事業

つくば霞ヶ浦りんりんロードを核とする全県的なサイクルツーリズムの推進

○ 国内クルーズ船の誘致

国内クルーズ船の運航会社等へのポートセールスの実施 等

○ デスティネーションキャンペーン事業

約 400 件の特別な体験企画の展開、J R 駅やメディアを活用したプロモーション 等